

社会調査に基づく政策立案

政策社会学史⑤ウェブ夫妻

上村 泰裕（名古屋大学）



Beatrice Webb 1858.1.22.~1943.4.30.
Sidney Webb 1859.7.13.~1947.10.13.

Sidney and Beatrice Webb

シドニーは下町の商店主の息子として生まれ、高級官僚となる。一方、ビアトリスは裕福な実業家の娘として生まれ、スペンサーに社会学を学ぶ。ブースの貧困調査に参加。二人は周囲の反対を押し切って結婚し、以後『労働組合運動の歴史』『産業民主制論』などを共著。ナショナルミニマム論を提唱し、救貧法改革を訴えた。フェビアン社会主義運動を指導し、イギリス労働党の創設に参加。シドニーは労働党内閣で植民地相などを歴任した。

1 フェビアン主義は何をめざしたのか？

「ファビウスがハンニバルとの戦いで多くの人に遅延を非難されても辛抱強く待ったように、あなたも時機の到来を待たなければならない。しかしその時が来たら、あなたもファビウスのように猛攻しなければならない。さもなくば、待った甲斐もなく、何の効果もないだろう。」

(フェビアン協会の由来。フランク・ポドモアによる)

1 フェビアン主義は何をめざしたのか？

「前世代には適切と思われた社会制度も、今日では本質的にあまり適切ではなくなっているかもしれない、明日にはさらに大きな不適合を引き起こすだろう。根っから保守的な人にはつらいだろうが、既存制度の絶えざる改造は避けられない。変わりゆく時代の条件に合わせて社会制度を慎重に修正し続けなければ、それは故障し、やがて革命的痙攣のなかで暴力的かつ唐突に変えられてしまうに違いない。社会組織の基礎としての民主主義の大きな利点は社会制度の継続的適応を可能にすることであり、その結果、社会制度をつねに関係者の精神の発達と調和させ続けることができるのである。」

(ウェッブ夫妻『大英社会主義社会の構成』[1920年]112頁、訳文改変)

1 フェビアン主義は何をめざしたのか？

「富の生産と消費に関わる全活動を、社会進化の諸段階や、この機能を遂行する社会組織の多様性を無視して一括してしまうこと、およびこれを自己完結した科学を偽装した経済学の主題に祭り上げ、社会における人間行為の研究、いかえれば社会制度の研究すなわち社会学から切り離すことには、ほとんど利益はなく、不利益ばかりが多いと思われる。」

(Beatrice Webb, *My Apprenticeship*, 1926. 江里口2008: 38の訳文を一部改変)

1 フェビアン主義は何をめざしたのか？

「一国の永続的な産業能率は、明らかに、その市民の健康と活力の維持に依存している。それゆえ、産業が経済的に自立し続けるためには、死亡、老化による欠員に十分な数の児童を補充しつつ、人口と活力を減らさずに、労働者の常備軍を十全に維持しなければならない。もしある業種の雇主が、労働者の窮乏に乗じて、平均的な健康維持に必要な衣食住に足りない賃金で雇用し、また適切な休憩・回復を阻害する長時間労働をさせ、あるいは寿命を縮めるほどの危険・不衛生な条件を強いることがあるとすれば、その業種は明らかに対価を支払っていない労働力の供給を受けているのだ。」

(ウェブ夫妻『産業民主制論』[1897年]、江里口2008: 71の訳文を一部改変)

1 フェビアン主義は何をめざしたのか？

「寄生的産業は、賃金稼得者の所得の一部を収奪し、また国民の活力の資源を枯渇させるだけでなく、実際には、国民産業のもっとも有利な配分を妨げ、それによって資本、能力、筋肉労働を、全体的に見て不生産的にするのである。」

(同、江里口2008: 72)

1 フェビアン主義は何をめざしたのか？

「我々がなすべきことは、自分自身を、さらには我が国民全体を、精神的にも肉体的にもより効率的にすることである。いかなる国もその居住者の労働を販売する以外にない。そして、最も能率的な国民が、不可避免的に世界の生産物の最大のシェアを獲得するであろう。」

(1903年6月のフェビアン協会におけるシドニーの演説。江里口2008: 94の訳文を一部改変)

1 フェビアン主義は何をめざしたのか？

「失業による強制的怠惰と長引く剥奪は、強者も弱者もなく、品行方正の者も放縦者もなく、肉体、精神、筋肉およびその意志におそるべき退行的影響を与える。まず最初に、生産的労働者に課される強制的怠惰の何百万の日々、次に、人格・肉体の退行・低下として現れる国民的損失は、どんなに誇張し過ぎてもし過ぎることではない。」

(Webb and Webb, *The Minority Report of the Poor Law Commission*, 1909. 江里口2008: 133)

1 フェビアン主義は何をめざしたのか？

「工場法の全体的な枠組は、…いかなる無防備な労働者も生計と余暇のナショナルミニマムを下回ることがないようにするものである。住宅と公衆衛生におけるナショナルミニマムがあらゆる場所で確保されるようにするのは、地方自治体の役割である。それに劣らず重要なのは、教育達成のナショナルミニマムを全国で実施し、初等教育から高等教育まで、親の資力に関係なくすべての少年少女に対して教育機会を実質的に開放することである。」

(ウェッブ夫妻『大英社会主義社会の構成』[1920年]337頁、訳文改変)

1 フェビアン主義は何をめざしたのか？

環境に対するナショナルミニマム 「すべての人は、体と心の健康によい、さわやかで洗われるような環境を汚れなく維持することに重大な関心を持っている。…賢明な民主国家であれば、資本主義的工場主がたんに利益を上げるために、工場の煙突から出る無用でじつに浪費的な煤煙によって、彼のものではない私たちの大気を汚染するのを許容し続けることはあり得ない。」

(338頁、訳文改変)

1 フェビアン主義は何をめざしたのか？

「並外れた才人が社会に対して自らの能力の使用料を全額請求するなら、浅ましい奴だと見なされるだろう。それはちょうど、搾れるだけの最高報酬を頂戴できないなら手術は断わると言う外科医みたいな奴だ。蓄財の成功に対してではなく、公平かつ熱心な公共への奉仕に対して与えられる社会的称賛や公的栄誉もまた、仕事の動機になるはずである。」

(363頁、訳文改変)

2 日本にどんな助言をしたか？

「私は、（土地、資本、および組織能力の）剰余所得を国民的
必要に充当することを提案するものとしての社会主義の価値を
認めています。しかし、英国において適切な社会制度がすべて
日本でも適切かどうかは疑わしいと思います。というのは、
（A）人々が大規模な事業をうまく運営できるようになるため
の訓練は、資本主義的な組織のもとで始められるべきだからで
あり、（B）社会主義は民主主義の発展の結果であるべきで、
民主精神なき社会主義施策は官僚制と温情主義を生むだけから
です。」

（上田貞次郎のシドニー・ウェブ宛レポート、1913年11月9日付）

2 日本にどんな助言をしたか？

「例えば、日本で国民保険の即時設立を提案するとしましょう。英国の労働者階級は友愛組合や労働組合で保険事業経営の訓練を積んできましたが、日本人にはそれがありません。日本には合資会社か雇用主が運営する産業保険しかありません。日本の労働者の多くは保険とは何かさえ知りません。というのは、彼らはお金に困った時には親戚か友人に頼るのが常だからです。したがって、もし国民保険制度が導入されれば、その事業全体は中央官庁から地方支局まですべて政府の役人によって運営されるに違いありません。人々は要求されれば素直に保険料を払うでしょうが、それを一種の税金だと思ってしまうでしょう。この制度全体は少しも民主的ではなく、《温情型社会主義》になってしまうでしょう。」(同)

2 日本にどんな助言をしたか？

「あなたの優秀なレポートにはほんの少しの返事しか要しませんが、あなたの問題の立て方は極めて正しいと思います。ある国の制度が他の国でそのまま複製できると思うのは馬鹿げているでしょう。一方、ある国は他の国の経験から学ぶことはできます。そして、他の国がたどったすべての段階を経験する必要はないのです。したがって、日本は極貧者に対する組織的慈善救済を開始したばかりですが（大阪市は1911年に米の配給を始めました）、私は市長に、英国が1601年に設けたような救貧機関を設立するのではなく、1909年の救貧法委員会少数派報告から学ぶように勧めました。少数派報告では、すべての一般救貧院を廃止し、貧困者の各層をそれぞれ別個の地方部局で処遇するよう主張したのです。日本が一般救貧機関を設立するとしたら大間違いだと思います。」

（シドニー・ウェブの返信、1913年11月19日付）

2 日本にどんな助言をしたか？

「国民保険制度については、私はあの計画を全く採用しないことを勧めます。労働組合や友愛組合などの自発的団体をまず作るべきだというあなたの主張は正しいでしょう。ベルギーやフランスのいわゆるゲント制度（Ghent system）のように、日本政府はそうした団体の形成を奨励し支援したらよいと思います。一般的に言って、日本で一番大事なことは民主的な感情を奨励し発達させることだと思います。したがって、すべての自発的団体は政府と世論によって支持され援助されるべきです。…英国の協同組合運動は（地方政府のあり方とともに）、あなたにとって最も研究する価値のあるものです。英国の資本主義的な工業や商業は、富と同じくらい貧困を生み、幸福と同じくらい悲惨を生んでいるので、研究に値しません。」（同）

2 日本にどんな助言をしたか？

「一週二度ずつ、シドニー・ウェッブという人の講義を聴きに行く。この人は昨年一度日本へ来たこともあり、僕も多少知ってるが、有名な社会主義者だ。英国ではソシアリストというところが少しも乱暴とか革命的とかいう意味はない。ただ、私有財産をだんだんに少なくして公有財産に移し、富者の所得の一部分を租税として取って貧者のために用いようというだけのことだ。これはどこの国でもやっているが、ますますその主義を押し広めようというのだ。シドニー・ウェッブの奥さんはやはり学者だ。本も夫婦で共著にする。講義も交代にやる。演説などはウェッブよりも奥さんのほうがウィットがあって面白い。先だって茶に呼ばれて行ってみたら、二十人くらいの男女のお客が来ていた。これは毎月三回ずつきめてやるのだそうだ。そのお客もなかなか揃ったインテレクチュアルな連中で、話が面白かった。」（上田貞次郎の妻てい宛書簡、1913年11月23日）

3 社会調査の秘訣は何か？

「研究をはじめた当初は、一定の時間を、題材について——怠惰にではなく少なくともリラックスして——「拾い読み」に使うことが有益であろう。それにかんするあらゆる本に目を通すばかりではなく、鉛筆を手にもち、心に生起するあらゆる観念を書きとめるのである。このためには、もっとも権威ある文章、検証済みの仮説だけでなく、…その題材にかんするもっとも「奇妙な」パンフレットすらも、少なくとも想像力ゆたかな精神には有益である。」

(ウェブ夫妻『社会調査の方法』60頁)

3 社会調査の秘訣は何か？

「われわれが労働組合運動の研究を最初の研究として行なったとき、冒頭で誤りを犯した。…われわれは一週間もかかって作った百二十もの質問を誇りに思いもした。質問は二十の表題の下に分け、数ページにわたって書き、回答用の空欄をつけ、コストを考えることもなく一千部の印刷を注文したのである。われわれは、組合幹部が机に向かってこの練りに練られた質問に詳しく回答を書きこんでいる姿、経営者や政府の監督官がわれわれの質問表冊子をひもとき、ウェット夫妻の公平さと明察に大きな感銘を受け、労使関係にかんするかれらの既存の大ざっぱな知識を修正もしくは補充する価値のあることを確信する姿を想像しさえした。何という自惚れであったことか！」

(64頁)

3 社会調査の秘訣は何か？

「あいまいで一般的な質問をしたなら、あいまいで一般的な回答が返ってくるだろう。反対に、質問の形式自体で範疇や定義を与えたとすれば、供述者はその陳腐な事実や仮定の限度内で証言するだろう。」(68頁)

3 社会調査の秘訣は何か？

「個人的な観察、記録の利用、文献の熟読、公聴会の証言の利用、インタビュー、統計手法その他どれによって事実の知識をえるにせよ、事実ないし事実らしきもののそれぞれの記録は、できるだけ正確に、十分くわしく、注意深く考えぬかれたシステム（——それは調査によって異なるだろう——）にしたがって、個々のカードの上にはっきりと——他人にも読めるように——書かなければならない。」（83頁）

3 社会調査の秘訣は何か？

「調査をはじめるともって、ないしは資料を調べ、口頭での証言を得、あるいは組織の活動を観察しているうちに自然と思いつかれた、事件の共存ないしは継起にかんする一般的な印象が、問題になっていることがかかわる個々のカードを全部同時に合わせてみたとき根本的に修正され、あるいは完全に換えられたことが、一度ならずあった。…このような「現実とのゲーム」、つまり一つの仮説を構成し、そしてカードを新しく組み変えることによって明らかになった、ないしは検証された他の仮説によってもとの仮説を打ち消すことは——とくに互いに対立する仮説を同時に「支持」したときになど——、もっとも刺激的なレクリエーションだったのである！」

(88頁)

3 社会調査の秘訣は何か？

「社会学研究という冒険くらい人を魅了し、人の心を捉えて離すことのないスポーツやゲームが一体他にあるだろうか…。…手書き文書の束や印刷物の山を前にし、与えられた時間のうちにこれを読みおえるという仕事は、言いあらわせないほどの興奮をもたらしてくれる。…社会構造へのこうした関心は、心をワクワクさせる人間的な要素の追求によって、すなわち指導者や指導者群、あの人この人の役割、無味乾燥な史料の中に繰り返して主張される政策や理想とともに出現する金銭的我欲、個人的な野心と虚栄の発見によって強化される。」(115頁)

3 社会調査の秘訣は何か？

「インタビューアーは、主題に関係する通常の教科書や白書からえられるあらゆるデータに眼を通していなければならない。例えば、工場と職場の区別とか「特例事項」の意味を知らずに工場監督官と会ったり、暫定的な命令と地方法の適用と国法の下で仕事をするものの差を知らずに町の役人に会ったりすることは無礼である。とくに、専門用語やその正確な使用法に慣れ親しんでおくことが重要である。」(129頁)

3 社会調査の秘訣は何か？

「相手にとってもインタビューが好感をもてるものにするのが望ましいということを心にとめておかれたい。インタビューは楽しい社交の一形態であると相手が思うようにすべきである。著者の一人はある代議員集団との「全員面接」という冒険を昔試みたことがあるが、かれらからじかに成功談を聞き、あらゆる有益な結果が得られたことを思い出す。こうしたくつろいだ雰囲気、双方が楽しく関心をもてる雰囲気、これがないければ、社会学者にもっとも価値のあるデータであり相手がよく知っている日々の経験の細部を知ることは不可能である。」

(132頁)

3 社会調査の秘訣は何か？

「社会学の知識が前進したことを公表するとき、それが広く検証される結果になるためには、他ならぬ新しく発見されたことを正確に特定して記述するようにしなければならない。そして、既存の知識体系に対する新しい知識の位置が直ちにわかるように十分に説明した上は、それに冗漫な議論をつけ加えてはならない。」(221頁)

3 社会調査の秘訣は何か？

「…〔救貧法改正などの〕社会改良が社会学教授の提案になるものだとか、その問題を取り扱おうと称する論文で弁護されたものだと言うつもりはない。しかし、19世紀における内閣と下院の背後には、また英国および米国の産業指導者の背後には、人びとが社会学と称して多くを論じる前から、社会事実を忍耐強く観察する人びとがいたのである。かれらは自分の観察したものを分類し、共存と継起にかんする仮説の枠組をつくった。一般には「自然法則」を定式化したと自称せず、また何らかの一般論からの理論的演繹をしたとも称せず、たんに自分の研究から、もしこれこれの行動がとられるなら、これこれの有益な結果が得られるだろうという特定の推論を行うことで満足していたのである。」(230頁)

出典

- ▶ ウェッブ夫妻『産業民主制論』(高野岩三郎監訳、法政大学出版局、1969年〔原著1897年、邦訳1927年〕)
- ▶ ウェッブ夫妻『大英社会主義社会の構成』(岡本秀昭訳、木鐸社、1979年〔原著1920年〕)
- ▶ ウェッブ夫妻『社会調査の方法』(川喜田喬訳、東京大学出版会、1982年〔原著1932年〕)
- ▶ 江里口拓『福祉国家の効率と制御——ウェッブ夫妻の経済思想』(昭和堂、2008年)

参考

- ▶ コール『ウェブ夫人の生涯』(久保まち子訳、誠文堂新光社、1982年)